

浜田市議会主催の地域井戸端会にご参加いただき、ありがとうございました。

会場を分散した結果、延べ 200 人(前回比 159%)の市民の皆さまの意見を伺うことができました。

事前にお知らせしていたとおり、いただいたご意見に対し、議会としての対応を以下のとおりお知らせします。

## 【テーマ別にいただいた意見への各委員会の所感】

### ○子どもたちと地域の関わりについて（総務文教委員会）

たくさんのご意見、ありがとうございました。大変参考になりました。

子どもを皆で育てていこうという認識をお持ちの方々(地域)が多かったように感じました。私たちも同様で、子どもたちに地域が関わる(関われる)まちを目指したいと考えています。まちづくりセンター等が主導となって子どもを意識した活動を積極的に企画されているところでは、子どもを通じて保護者とも接点生まれ、地域内コミュニケーションの充実が図られている様子が見え、暮らしの安全確保、地域教育、歴史文化継承など、学校や家庭だけでは担えない地域の役割も改めて認識したところです。

一方で、少子化による子ども会活動の縮小や廃止を余儀なくされた地域も多く、地域の存続に対する危機感を共有しました。また、子どもたちの遊び場としての公園整備、部活動の選択肢確保や送迎負担の軽減といった要望も伺っています。

学校・家庭・地域が互いに補完し合う良好な関係構築が図られ、「協働」が形成されるよう、当委員会も引き続き調査研究するとともに、政策提言につなげてまいります。ご協力ありがとうございました。

### ○健康について（福祉環境委員会）

福祉環境委員会では健康をテーマに意見交換をさせていただく中で、身体だけでなく心も含めた健康について様々な角度から多くのご意見を頂きありがとうございました。地域で運営されてきたサロン活動が地域コーディネーターの削減により運営継続が難しくなっているのご意見は多くの地域から出されており、サービスが後退することのないようチェックしていきたいと思っております。サロン等の活動への参加や通院、買い物等、日常生活における移動手段の確保は中山間地のみならず市内中心部でも深刻化しています。人口減少と少子高齢化で組織団体の維持が困難になっており、行政と関係機関(社会福祉協議会等)、地域自治組織やグループ・団体との連携を大切にしたい制度設計が課題となっています。市では令和6年度からの地域公共交通計画の策定に向けて、公共交通施策の検証と見直し作業が行われており、ご要望が計画に反映できるよう努めてまいります。浜田医療センターの放射線治療装置(リニアック)の更新のための治療中止に伴い、遠方の病院への通院を余儀なくされている現状も伺いました。これらの課題は一般質問や福祉環境委員会でも議論してきておりますが、改善に向けて引き続き研究し取り組んでまいります。今後とも福祉環境委員会の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

### ○農業・林業・漁業の問題点と希望について（産業建設委員会）

今回の地域井戸端会において、産業建設委員会では3つのテーマを基に要望や問題点についてお伺いすることができました。

いただいたご意見や問題点について、現地でお答えできることについてはお話しさせていただきましたが、十分な対応ができなかったのが現状です。残る課題については当委員会で協議を行い、委員会代表質問や個人一般質問の機会を活用して働きかけるなど、今後も市民の皆様の負託にお応えできる産業建設委員会活動を行ってまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒

